



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2020

毎日新聞 令和2年11月21日(土)

地元店と共同開発したスイーツのポスターを持ち、商品をPRする県立氷上西高3年の近藤百華さん
=丹波市の同高で



氷上西高生 店舗と共同開発

【幸長由子】
地元店と共同開発したスイーツのポスターを持ち、商品をPRする県立氷上西高3年の近藤百華さん
=丹波市の同高で

丹波市青垣町佐治の県立氷上西高校の生徒が地元菓子店などと共同でスイーツ3品を開発した。鮮やかな紫色のブルーベリー入りバタークリームがインスタ映えしそうなクッキーなど、どれも見た目がかわいい。地域のイベントなどで販売して好評だ。22日、同地区で開かれるイベント

「サジイチ」でも販売される。完成したのは、どら焼3年生が地域活性化について考える選択授業「地域ビジネス」の一環で、山本涼樺さん(18)と近藤百華さん(17)が商品開発に取り組んだ。2人が商品のコンセプトを考えて試作。地域のレストラン兼菓子工房「あんどう」と和菓子店「荒木

クリークリー入りの「ぼてぢり」(280円)とブルーベリーケーキをクッキーで挟んだ「ブルーベリーサンド」(300円)。10月に地域のイベントで30個ずつ試験販売すると、約2時間で完売する人気ぶり。ぼてぢりは荒木本舗の店内でも販売が始まった。

22日は佐治地区の商店街や古民家などで午前10時半後3時に開かれる「サジイチ」に出店する。出店場所は佐治地区にある元薬局の吉良家「センバヤ」で、各50個限定で販売。商品開発した近藤さんは「自分たちが作ったものがおいしいと言つてもうえ、うれしい。何度も買ってもらえる商品になれば」と話している。

映えるかわいい3品